

文化財 だより

NO. 21

令和4年度

発行●太田市教育委員会 発行日●令和5年11月30日 編集●太田市教育委員会文化財課(群馬県太田市粕川町520 TEL 0276-20-7090 FAX 0276-52-6080)

おおたんの 文化財探検スタンプラリー



太田市

探検期間●令和4年7月21日~8月31日

おおたんの

文化財探検スタンプラリー

3年ぶりに再開



令和2年度、令和3年度と新型コロナウイルス感染症のため、中止しておりました「おおたんの文化財探検スタンプラリー」ですが、本年度3年ぶりに開催することができました。(次のページへ続く)



おおたんの 文化財探検 スタンプラリー

太田市に数多く存在する貴重な文化財を、正しく理解・認識し、より身近に感じていただくため、「おおたんの文化財探検スタンプラリー」を実施しました。

小・中学校が夏休みとなる令和4年7月21日から8月31日を実施期間として、市内の文化財所在地や各資料館など合計16箇所にスタンプを設置しました。参加者はガイドマップをたよりに、夏の暑い盛りの中、スタンプを求めて市内各所を巡りました。

スタンプを設置した全16箇所のうち13箇所以上を巡ると修了認定されます。今回は5,586名の参加申込があり、その内の3,855名が修了認定されました。久しぶりの開催ということもあり、参加者および修了者は過去最高となりました。

修了者には記念品として、「あやちゃん」と「よしさだくん」のイラストがプリントされたフェイスタオルを贈呈しました。

参加者の皆様は、スタンプラリーを通じて太田市の歴史を学ぶとともに、家族や友達と一緒に楽しい時間を過ごしたのではないかと思います。

また、今回のスタンプラリーに合わせて、道の駅おおたの観光交流コーナーにて、ミニ展示会「道路標識いまむかし展」を開催しました。市指定文化財「あづま道道標」の原物を特別に展示し、スタンプ設置箇所の1つとしました。スタンプラリー参加者のみならず、多くの道の駅利用者にも御覧いただきました。



天神山古墳



旧中島家住宅



修了者記念品（フェイスタオル）



スタンプ帳とガイドマップ



道の駅おおた



群馬県指定文化財「長楽寺三仏堂」の保存修理事業

令和4年7月13日から令和4年12月31日までの約6か月をかけ、所有者の長楽寺による「長楽寺三仏堂及び太鼓門保存修理事業」が実施されました。

今回の修理では、三仏堂^{えんまわ}縁廻りの塗装工事^{えん}と縁束^{つが}の木工事^{ねづき}（根継修理と矧木修理）を行いました。

腐朽劣化が見られた縁廻りですが、修理を終え鮮やかな姿を取り戻しました。



修理前の縁廻り（南側）



縁束（根継）



縁束（矧木）



修理後の縁廻り（南側）



長楽寺三仏堂

しょうぼうじ

太田市指定重要文化財「正法寺仁王尊」の保存修理事業

令和4年5月から令和5年3月までの11か月をかけ、市指定重要文化財「正法寺仁王尊」の保存修理事業を行いました。

仁王尊像^{あぎょうぞう}は本堂に向かって右が阿形像、左が吡形像^{うんぎょうぞう}の配置で、高さは共に約2.6メートルです。

令和3年9月に吡形像左腕の落下が確認され、文化財審議会委員からご意見をいただき、どのように修理していくかを検討してきました。

令和4年6月の現地調査では、吡形像の落下した左腕のほか天衣も両肩部分から外れ落下していたことを確認し、阿形像については像の大きな傾斜が進行した場合、倒壊の恐れがある状態を確認しました。

吡形像については左腕及び天衣に補強を加え接合し、阿形像については像と建物を鉄線で連結することで、転倒防止としました。

修復前の吡形左腕



修復後の吡形左腕



で ま え こ う こ が く き ょ う し つ

出前考古学教室

文化財課では毎年、市内の小・中学校を対象に地域の歴史・文化を学んでもらう機会として、出前考古学教室を実施しています。学校に出張して土器や埴輪を間近で見触れてもらい、児童・生徒のみなさんに歴史を身近に感じてもらうことを目的としています。令和4年度はぐんま国際アカデミー中等部からご要望をいただき、実施することができました。

- と き 令和4年6月15日（水）から20日（月）
- ところ ぐんま国際アカデミー中高等部
- 見学者 中等部1年生 生徒93名

中等部1年生における社会科の授業の一環として、「考古学とはどのような学問か」「太田市の原始・古代の様子」をテーマに展示・講座を行いました。

教室1室をお借りした展示会場では、太田市内で出土した縄文時代から古墳時代までの遺物のほか、模型・パネルを展示しました。また直接土器に触れるコーナーや、ぐんま国際アカデミー中高等部周辺で出土した遺物・出土地点を示したパネルを設置し、生徒のみなさんがより身近に歴史を感じられるよう工夫しました。

講座では、実際の発掘調査の様子を写した写真や、太田市内で出土した土器などを題材に、考古学という学問や、考古学を通してみた太田市の古墳時代についてお話ししました。



展示会場の様子



講座の様子

また今年度は、宝泉行政センターの主催事業「いずみレディースアカデミー」内の講座として、宝泉地区の歴史について講座を行いました。宝泉地区から出土した遺物を展示しながら、縄文時代から明治時代までを通史的に解説し、現代のくらしの成り立ちを実感できるよう、お話ししました。

- と き 令和4年7月19日（火）
- ところ 宝泉行政センター
- 見学者 いずみレディースアカデミー受講生 24名



講座の様子



宝泉地区出土の遺物展示



ぎ おん

「尾島祇園の屋台彫刻展」開催

- とき 令和4年3月26日（土）から5月29日（日）まで
- ところ 旧中島家住宅・道の駅おおた
- 観覧者 1,730人（道の駅おおたを除く）

尾島祇園の屋台彫刻展では、平成12年に旧尾島町教育委員会が三丁目（行政区）から移管された屋台の部材を展示しました。部材には見事な彫刻が施されており、中島家を含め、地元が栄えていた時代を想起させるものです。

この屋台彫刻展は、旧中島家住宅の全面整備に向けた耐震診断や保存活用計画策定を進める中で、建造物の価値への理解及び今後の整備の機運を高めることを目的として、旧中島家住宅と道の駅おおたにて開催し、多くの方にご観覧いただきました。



旧中島家住宅 展示の様子



道の駅おおた 展示の様子

尾島祇園の歴史

祇園祭は京都の八坂神社をはじめ、全国各地で行われていますが、平安時代の貞観年間に当時京都で流行していた疫病を鎮めようとしたことが始まりといわれています。八坂神社の祭神である須佐之男命すさのおのみことは災いを起こしたり鎮めたりする善悪の両面を持つ神様です。

尾島祇園は地元の須賀神社のお祭りで、ここの祭神も須佐之男命です。かつては旧尾島町中心部の行政区ごとに屋台があり、お祭りになると住民同士の協力で組み立てられていました。そのうち、尾島三丁目の屋台は横に広がりを持つ舞台として使われていたことが、昔の写真に記録されています。現在、その部材の一部は太田市で保管しています。

なお、尾島四丁目の屋台あいまんじは哀愍寺に、尾島上町の屋台は須賀神社に保管しており、それぞれ市指定重要有形民俗文化財に指定されています。



尾島上町屋台



尾島三丁目屋台（昭和9年頃）



尾島四丁目屋台



史跡環境整備

文化財課では、市内の史跡等の環境整備として年間を通して草刈を行っています。

特に夏場は雑草の伸びが早く、暑さもあり、とても大変です。綺麗な状態の史跡を見学して頂けるように史跡環境整備作業員が日々、環境維持に努めています。



寺山古墳の草刈▶

その他史跡管理（樹木伐採等）

史跡等の草刈以外に、危険な枝の剪定や古墳内の枯枝の撤去作業、スズメバチの巣の駆除などを行っています。訪れていただいた皆様に危険がないよう、適切な管理に努めています。

令和4年度には、朝子塚古墳や巖穴山古墳の樹木伐採の作業を行いました。



巖穴山古墳の樹木剪定▶

文化財模擬火災訓練

- とき 令和5年1月22日（日）
午前9時30分から1時間程度
- ところ 龍得寺（新田上江田町）

昭和24年1月26日、国宝の法隆寺金堂から出火し、国宝の壁画の大半が焼損したため、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動を実施しています。

太田市では、コロナウイルスの感染拡大により中止していた「文化財模擬火災訓練」を縮小したかたちで3年ぶりに実施しました。

龍得寺は金山城主・横瀬泰繁により創建されたと伝えられています。市指定重要文化財の絹本著色横瀬泰繁画像や五輪塔を所有しています。

訓練は龍得寺本堂より出火という想定で開始され、消防本部・消防団・関係者の協力のもと、初期消火作業、通報、一斉放水などが行われました。



消防出動



一斉放水



史跡金山城跡の環境整備等の取り組み

史跡金山城跡（太田市金山町）では、ボランティア組織の「金山城保存会」や「金山の松と竹を愛する会」が下草刈りや放置竹林の整備など史跡環境整備に取り組んでいます。

「金山城保存会」は、4月下旬と12月中旬に花と緑の課・観光交流課・文化財課の合同清掃にも参加いただいています。

また、「金山の松と竹を愛する会」は伐採した竹を利用して竹炭や竹酢を製作しています。（土・日曜日に史跡金山城跡ガイダンス施設にて無料配布しています。数量限定。）



合同清掃の様子

史跡新田荘遺跡（反町館跡）南堀護岸工事

- 場 所 太田市新田反町町地内
- 契約日 令和4年7月13日
- 期 間 令和4年7月14日から10月19日

国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を受け、反町館跡南堀の南法面の護岸工事を実施しました。樹木を伐採した後、底面に砕石を敷いてマットレス状にし、その上に石を入れたかご枠を3段積み工事でした。さらに上部には植栽マットを敷きました。

なお、工事終了後、工事報告書を刊行しました。



工事終了後の写真

資料整理事業

史跡の保存修理や発掘調査の結果について広く公開するために、報告書を編集・刊行しています。

令和4年度は、反町館跡の南堀護岸工事の概要を報告した『史跡新田荘遺跡（反町館跡）南堀護岸工事報告書』（表紙青）と、金山城跡の大手虎口の南西部の発掘調査を報告した『史跡金山城跡—令和3年度釘貫戸張地区調査報告書—』（表紙白）を刊行しました。



報告書の写真



しも はら い せき

下原遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市新野町地内
- 調査期間 令和4年7月13日から7月27日
- 調査面積 約31㎡

宅地造成工事の道路築造に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代の竪穴建物跡1軒、古代の竪穴建物1軒、古代以降の溝1条、時期不明のピット5基が確認されました。また、古墳時代や古代の土器片が出土しました。過去の周辺での調査でも同様な時期の竪穴建物跡が確認されており、この地域では古くから人々が生活していたことが伺えます。



竪穴建物跡出土遺物（北東から）



調査区全景（北から）

すいていとうさん どう えき ろ うし ぼり

や の はら

とり やま たら なか い せき

推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルート、鳥山寺中遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市鳥山上町地内
- 調査期間 令和4年9月12日から9月27日
- 調査面積 約32㎡

土地分譲の道路築造に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古代の溝1条、近世以降の土坑2基、時期不明の井戸1基、土坑3基、ピット1基が確認されました。溝は、古代道路（推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルート）の道路側溝と考えられます。また、埴輪片や古代の土器片などの遺物が出土しました。調査地は、昨年度の調査でも古墳時代末から奈良・平安時代の集落が確認されていた場所で、今回もその集落に付随する形で遺構が検出されました。



溝出土遺物（東から）



推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルート北側側溝（西から）

ごりょう い せき

御霊遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市龍舞町地内
- 調査期間 令和5年3月6日から3月24日
- 調査面積 約242㎡

土地分譲の道路築造に伴い発掘調査を実施しました。その結果、中近世の溝2条、土坑1基が確認されました。2本の溝は重なって見つかり、古い溝は上端幅約3.9mの大規模なもので、北から東にカーブしていました。溝の底面付近で砂が堆積しており、何らかの流路・水路と思われます。また土の堆積状況から、人為的に埋め戻しが行われたことが分かりました。当地域の開発の歴史が伺えます。



重なって見つかった2本の溝（北から）



やな ば い せき

梁場遺跡 (民間開発)

- 調査場所 太田市高林南町地内
- 調査期間 令和4年6月27日から7月29日
- 調査面積 約242㎡

集合住宅建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、竪穴建物跡3軒、土坑13基、溝2条、土壇墓1基が確認されました。出土遺物の特徴から、竪穴建物跡は古墳時代から奈良・平安時代の時期が想定されます。また土壇墓からは、神楽鈴を握ったままの人骨が1体出土しました。人骨の下から出土した六文銭や陶磁器の特徴から、江戸時代中期頃のものと思われる。



調査区全景 (南西から)



土壇墓から出土した人骨 (東から)



人骨が握っていた神楽鈴

やな ば い せき

梁場遺跡 (民間開発)

- 調査場所 太田市高林南町地内
- 調査期間 令和5年1月25日から2月15日
- 調査面積 約176㎡

集合住宅建設に伴い、上記調査区の隣接地で発掘調査を実施しました。その結果、竪穴建物跡3軒、土坑6基が確認されました。出土遺物の特徴から、竪穴建物跡は古墳時代～奈良・平安時代、土坑のうち1基は江戸時代のもものと推定されます。江戸時代の土坑からは、金属加工の道具である垢搦が8点以上出土しました。



調査区全景 (北西から)



奈良・平安時代の竪穴建物跡 (北西から)



土坑から出土した江戸時代の遺物 (○が垢搦)



たかはやしつる まき こ ぶん ぐん

高林鶴巻古墳群（民間開発）

- 調査場所 太田市高林南町地内
- 調査期間 令和4年10月3日から12月26日
- 調査面積 約980㎡

福祉施設建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳6基、竪穴建物跡4軒、土坑11基、溝1条等が確認されました。古墳の墳丘は既に削平されていましたが、一部で竪穴式石室や横穴式石室の痕跡が見つかりました。調査区周辺では4世紀（古墳時代前期）の集落が廃絶された後、5世紀後半と6世紀後半の2期に分けて古墳群が形成されたようです。



1号墳全景 直径25mの円墳で、墳丘中央に構築時の区画溝あり



5号墳全景 5世紀後半の円墳で、中央に竪穴式石室をもつ



5号墳の竪穴式石室 河原石の小口積で、内寸の長さ132cm

もと や ぼ じょう せき

本矢場城跡（公共開発）

- 調査場所 太田市矢場町地内
- 調査期間 令和5年1月18日から2月3日
- 調査面積 約150㎡

道路建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、中世の溝3条、中世以降の溝2条、近世以降の溝1条、土坑2基、時期不明のピット2基が確認されました。溝は、戦国期に機能していた本矢場城の堀に関係するものと思われます。また、中世以降のかわらけ、陶磁器片、石臼や砥石が出土しました。今回見つかった堀には、市史の矢場城跡縄張図に未掲載の部分もありました。



北調査区全景（南から）



中央調査区全景（北から）



南調査区溝遺物出土状況（北から）



令和4年度埋蔵文化財最新情報展

- とき 令和5年1月14日(土)から3月19日(日)
- ところ 史跡金山城跡ガイダンス施設
- 観覧者 4,477人

令和4年度の埋蔵文化財最新情報展は、令和2年度から3年度にかけて東今泉町で行なわれた東今泉^{ひがしいまいずみ}鹿島遺跡、鹿島浦遺跡、^{かしまいせき}推定東山道駅路^{すいでいとうざんどうえきろ}(牛堀・矢ノ原ルート)発掘調査の遺物整理作業が終了し、発掘調査報告書が刊行されたことを受け、「太田・桐生インターから見た過去の景色」というテーマで行ないました。

今回は、全3調査区計5,000㎡以上の調査が行なわれました。群馬県埋蔵文化財発掘事業団の過去の調査成果や今回出土した縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代及び中世の遺物や遺構写真、パネルの展示を行いました。



展示風景



最新情報展チラシ

出土遺物整理作業

文化財課では、これまで実施した発掘調査の成果を公開するために、出土した遺物の接合や復元、実測、写真撮影等の整理作業を行い、資料化を進めています。令和4年度は駒形神社埴輪窯跡、世良田館^{こまがたじんじやにわかまあとせらだやかた}跡、令和3年度太田市内遺跡などの各調査の整理作業を実施しました。

今年度は、令和3年度の各種開発に伴う確認調査をまとめた『太田市内遺跡18』を刊行しました。



太田市内遺跡18



整理作業風景



**開発に係る調整
令和4年度
事前照合・協議件数等**

	民間開発	公共事業	合計
事前照合・協議	2582件	90件	2672件
93条届出（民間）／94条通知（公共）	782件	38件	820件
慎重工事	54件	2件	56件
確認・試掘調査	64件	4件	68件
立会調査	11件	33件	44件
本発掘調査	6件	1件	7件
学術調査	—	0件	0件
確認・試掘調査面積	5102.8㎡	211㎡	5313.8㎡
本発掘調査面積	1703㎡	150㎡	1853㎡
学術調査面積	—	0㎡	0㎡

令和4年度 確認調査一覧表

No.	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
1	今井地区遺跡群	世良田町	R4.4	民間
2	朝子塚古墳	牛沢町	R4.4	民間
3	焼山北古墳群	東金井町	R4.4	民間
4	浜町遺跡	本町	R4.4	市
5	高林鶴巻古墳群	高林南町	R4.4	民間
6	梁場遺跡	高林南町	R4.5	民間
7	東矢島遺跡	末広町	R4.5	民間
8	鳥崇神社古墳	鳥山中町	R4.5	民間
9	F P 泥流下遺跡群	粕川町	R4.5	民間
10	推定東山道駅路（武蔵路）、脇屋古墳群	城西町	R4.5	民間
11	寺井廃寺	天良町	R4.5	民間
12	田谷遺跡	東矢島町	R4.5	民間
13	矢田堀館跡、矢田堀前遺跡	矢田堀町	R4.5	民間
14	目塚遺跡、天神山古墳A陪塚	内ヶ島町	R4.6	民間
15	F P 泥流下遺跡群	尾島町	R4.6	民間
16	下原遺跡	新道町	R4.6	民間
17	堀廻遺跡	新田小金井町	R4.6	民間
18	八反田遺跡	下浜田町	R4.6	民間
19	八反田遺跡	下浜田町	R4.6	民間
20	天神山古墳	内ヶ島町	R4.6	民間
21	萩林遺跡	藪塚町	R4.7	民間
22	天良七堂遺跡	天良町	R4.7	民間
23	推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ル一ト、鳥山寺中遺跡	鳥山上町	R4.8	民間
24	梁場遺跡	高林南町	R4.8	民間
25	矢島城跡、糸里制水田想定地	西矢島町	R4.8	市
26	堀廻遺跡	新田小金井町	R4.8	民間
27	今井地区遺跡群	世良田町	R4.8	民間
28	上遺跡	鳥山上町	R4.8	民間
29	下小林上遺跡	下小林町	R4.8	民間
30	要害遺跡	新田反町町	R4.8	民間
31	下田島遺跡	下田島町	R4.9	民間
32	FP泥流下遺跡群	大館町	R4.9	市
33	北明泉寺遺跡	飯塚町	R4.9	民間
34	大門遺跡	別所町	R4.9	民間

No.	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
35	要害遺跡	新田反町町	R4.10	民間
36	東部地区遺跡群	阿久津町	R4.10	民間
37	一町田・堀之内遺跡	新田木崎町	R4.10	民間
38	西田島遺跡	下田島町	R4.10	民間
39	房塚遺跡、内ヶ島屋敷跡	内ヶ島町	R4.11	民間
40	東部地区遺跡群	岩松町、阿久津町	R4.11	民間
41	下宿遺跡	東金井町	R4.11	民間
42	稻荷宮遺跡	台之郷町	R4.11	民間
43	矢場向遺跡	矢場新町	R4.11	民間
44	清川遺跡	由良町	R4.11	民間
45	内ヶ島南田遺跡	飯塚町	R4.11	民間
46	堀廻遺跡	新田小金井町	R4.12	民間
47	本矢場城跡	矢場町	R4.11、12	市
48	小舞木遺跡	小舞木町	R4.12	民間
49	御霊遺跡	龍舞町	R4.12	民間
50	天良七堂遺跡	天良町	R4.12	民間
51	木戸海道遺跡	藪塚町	R4.12	民間
52	市野井・本郷遺跡、本郷D館跡	新田市野井町	R4.12	民間
53	下田島遺跡	下田島町	R5.1	民間
54	笠松遺跡	新田小金井町	R5.1	民間
55	笠松遺跡	新田小金井町	R5.1	民間
56	笠松遺跡	新田小金井町	R5.1	民間
57	萩原遺跡	吉沢町	R5.2	民間
58	房塚遺跡	内ヶ島町	R5.2	民間
59	新野古墳群	新野町	R5.2	民間
60	東部地区遺跡群	堀口町	R5.2	民間
61	宮西遺跡	東矢島町	R5.2	民間
62	鳥山下遺跡	鳥山中町	R5.3	民間
63	萩林遺跡	藪塚町	R5.3	民間
64	F P 泥流下遺跡群	世良田町	R5.3	民間
65	新田館跡、世良田環濠集落	世良田町	R5.3	民間
66	藤久良住吉遺跡	藤阿久町	R5.3	民間
67	八反田遺跡	下浜田町	R5.3	民間
68	萩林遺跡	藪塚町	R5.3	民間



新田荘歴史資料館

太田市世良田町3113-9 ☎0276-52-2215 開館時間／9時30分から17時 休／月曜日

「新田猫 ー新田岩松家の絵画ー」

●と き 令和4年7月17日（日）から10月10日（月・スポーツの日）

●入館者 5,650人

「新田猫」とは、新田岩松氏の歴代当主が4代にわたって描き、養蚕が盛んだった上州・武州・信州などでネズミ除けに効果があるとされ、蚕室などに貼られて蚕の神様として信仰されていた猫絵です。

今回の企画展では、当館所蔵の新田猫絵を中心に岩松義寄の先代の岩松孝純を加えて、各代の彩色された絵画と鍾馗像各1点を公開しました。



展示の様子

関連講演会

「新田猫のふるさとー猫絵と養蚕の関わりー」

●と き 令和4年9月11日（日）

●講師 板橋 春夫氏（元日本工業大学教授）

●参加者 51人



板橋 春夫氏▶

令和4年度「長楽寺展」～頂相・肖像～

●と き 令和4年10月16日（日）から12月11日（日）

●入館者 1,242人

新田氏の祖新田義重の子徳川義季が承久3年（1221）に臨済宗の祖栄西の高弟栄朝を招いて創建し、新田徳川氏を先祖であるとする徳川将軍家が境内に東照宮を勧請するなど、先祖の建てた寺として庇護した長楽寺。

今回は、長楽寺に伝わる「頂相・肖像」を中心に長楽寺・東照宮の宝物を展示し、中近世に繁栄した長楽寺・東照宮の歴史と文化の一端に触れることを目的として開催しました。



展示の様子



関連講演会 1

「建武政権下の足利尊氏と新田義貞」

- と き 令和4年11月27日（日）
- 講 師 田中 大喜氏（国立歴史民俗博物館准教授）
- 参加者 43人



田中 大喜氏▶



関連講演会 2

「新田義貞の実力と声望」

- と き 令和4年12月11日（日）
- 講 師 山本 隆志氏（筑波大学名誉教授）
- 参加者 52人

◀山本 隆志氏

関連行事

「ガイドと歩く紅葉の歴史公園」

- と き 令和4年11月16・17日（計4回開催）
- 参加者 40人
- ガイド 新田荘史跡ガイドの会



散策の様子▶

ゴールデンウィーク・夏休み企画「ストラップ作り」

- と き 令和4年5月3・4・5日（火・水・木）
- 参加者 25人
- と き 学校の夏休み期間中の土・日・休日に実施（13日間）
- 参加者 655人



ストラップ作成の様子

透明プラスチック板を使い、オリジナルのイラストを写し取り、ストラップを作りました。

正月特別無料開館

- と き 令和5年1月2・3日（月・火）
- 入館者 2,228人

長楽寺・世良田東照宮の正月初詣にあわせて、正月特別開館を実施しました。

普段なかなか資料館に見学に来られない方々にも見学して頂きました。

正月特別開館の様子▶





大隅俊平美術館

太田市由良町3051 ☎0276-20-6855 開館時間/9時30分から17時 ㊿/月曜日

季節毎の展示



- 「春の刀剣展示」令和4年1月29日（土）から5月22日（日） 入館者 648人
- 「夏の刀剣展示」令和4年5月28日（土）から9月25日（日） 入館者 4,030人
- 第14回企画展「大隅刀匠と上古刀」令和4年10月1日（土）から令和5年1月22日（日） 入館者 472人
- 「春の刀剣展示」令和5年1月28日（土）から5月21日（日） 入館者 305人（3月末まで）

年中行事

七夕飾り

- とき 令和4年6月25日（土）から7月10日（日）
- 参加者 34人



重陽の節句

- とき 令和4年9月6日（火）から9月11日（日）
- 参加者 69人



ふいご祭り

- とき 令和4年12月4日（日）
- 参加者 19人



ひな飾り

- とき 令和5年2月21日（火）から3月12日（日）
- 参加者 154人





イベント・講座

銘切実演

- とき 令和4年5月5日 (木)
- 参加者 55人 (うち同伴者36人)



さつき祭り

- とき 令和4年5月17日 (火) から5月22日 (日)
- 参加者 79人



花結び講座 (ブローチ作り)

- とき 令和4年6月7日 (火) から6月8日 (水)
- 参加者 30人



五寸釘でペーパーナイフ作り

- とき 令和4年8月7日 (日)
- 参加者 44人 (うち同伴者22人)



展示作品説明会

- とき 令和4年10月9日 (日)
- 参加者 22人



作刀工程実演「火造り」

- とき 令和4年10月23日 (日)
- 参加者 69人



花結び講座 (干支・卯)

- とき 令和4年11月8日 (火) から11月9日 (水)
- 参加者 33人



王朝装束着装実演

- とき 令和5年1月22日 (日)
- 参加者 24人



花結び講座 (ストラップ作り)

- とき 令和5年2月16日 (木) から2月17日 (金)
- 参加者 42人



作刀実演「玉へし」

- とき 令和5年3月5日 (日)
- 参加者 78人





縁切寺 満徳寺 資料館

太田市徳川町385-1 ☎0276-52-2276 開館時間／9時30分から17時 ㊿／月曜日
め やすおうらいもの じ だい

特別展「目安往来物の時代」

- とき 令和4年11月12日（土）から令和5年1月15日（日）
- 入館者 1,434人



特別展のチラシ



展示の様子「一揆型の目安往来物」



講演会の様子（講師：小泉 吉永氏）

令和4年度は「目安往来物の時代」と題して実施しました。往来物は近代小学以前の約900年間、日本人の職字率を支えてきた読み書き教材です。特に江戸時代には寺子屋の普及とともに、「村 尽」「町 尽」など各地の地誌に関する往来物が数多く作られました。

今年度は、特に「一揆型の目安往来物」「論争型の目安往来物」「戯文になった訴状」の3つのテーマで、現在唯一の資料を数多く含む小型和本約120点を会場に展示しました。

高山彦九郎記念館

太田市細谷町1324-7 ☎0276-32-5632 開館時間／9時30分から17時 ㊿／月曜日

高山彦九郎は、上野国新田郡細谷村（現太田市細谷町）で生まれた江戸時代中期の勤王思想家で、後世の明治維新を導いた幕末の志士たちに大きな影響を与えた人物です。高山彦九郎記念館は、高山彦九郎を再評価し、その人物像を広く知っていただくため、平成8年5月に国指定史跡高山彦九郎宅跡 附遺髪塚の隣接地に開館致しました。

また、2階企画展示室で「太田市の原始・古代展」を開催しています。ぜひ一度お越しください。



史跡 金山城跡 ガイダンス 施設

太田市金山町40-30 ☎0276-25-1067 開館時間/9時から17時 ㊟/月曜日

ギャラリー展示（企画展）

企画展名	実施期間	入館者
「金山城の池を探る。」	R4.5.7から6.26	2,901人
「天神山古墳を探る、」	R4.7.21から9.11	7,874人
「今から110年前の大正元年9月4日「誇る文豪」 田山花袋が太田の町を歩く—小説『百日紅』を読む」	R4.10.1から12.18	5,827人
「第1回 竹灯り展」	R4.8.12から8.16	917人
「第2回 竹灯り展」	R4.12.17から12.25	414人
「埋蔵文化財最新情報展」	R5.1.14から3.19	4,477人





教室

教室名	実施日	回数	講師	受講者
日本茶の美味しい入れ方	令和4年5月27日(金)	1回	齋藤 一郎氏	27名
手のひらの芸術和菓子作り教室	令和4年6月29日(水)	1回	小泉 慶太氏	14名
親子草木染教室「トートバッグとバンダナを藍で染める」	令和4年8月5日(金) 令和4年8月6日(土)	4回 (午前2回・午後2回)	松尾紀美子氏	46名
草木染教室「藍の生葉で空の色を染める」	令和4年8月19日(金)	2回 (午前1回・午後1回)	松尾紀美子氏	23名
金山城の竹であかりを作ろう	令和4年12月10日(土)	2回 (午前1回・午後1回)	文化財課職員 金竹連	24名
古代鏡をつくってみよう	令和5年2月26日(日)	8回 (午前4回・午後4回)	文化財課職員	24名



日本茶の美味しい入れ方教室



和菓子作り教室



トートバッグとバンダナの藍染め



藍の生場で空の色を染める



金山城の竹であかりを作ろう



古代鏡をつくってみよう

オリジナルグッズ

施設では、新田金山城御城印のほか金山城に関連するオリジナルグッズを有償頒布しております。来館・登城記念に大好評です（オリジナルグッズは郵送対応しておりません。直接ご来館の上購入してください。）





講演会

「太田天神山古墳の三次元測量・地中レーダー探査とその成果」

- と き 令和4年7月31日（日）
午後1時から3時
- 講 師 城倉 正祥教授
（早稲田大学文学学術院）
- 参加者 48人

天神山古墳では、令和4年2月から3月にかけて早稲田大学が詳細な測量調査と地中レーダー探査を実施しました。

地中レーダー探査とは、地面に電波を地面に向けて反射波を計測することで地下の構造を調べる探査方法です。地面を掘ることなく地下を調査できるので注目されている探査方法です。

この講演会では、天神山古墳の測量調査や地中レーダー探査によって明らかとなった天神山古墳の構造や築造規格についてご講演いただきました。



南上空からみた天神山古墳



講演会の様子

「田山花袋展ギャラリートーク」

- と き 令和4年12月4日（日）
午後1時から3時
- 講 師 群馬県立太田高等学校文芸部顧問
関塚誠教諭、部員のみなさん
- 参加者 35人

館林出身の文豪・田山花袋の小説「百日紅」のなかで花袋と義兄・太田玉茗が歩いた当時の太田町の様子を紹介した企画展に関連して、県立太田高等学校文芸部のみなさんに協力いただきギャラリートークを開催しました。

また、小説の中で印象に残ったフレーズを紹介する「俺の花袋、ぐっときたフレーズ」を文芸部員のみなさんに発表していただきました。



ギャラリートークの様子